

## 令和6年度 高野原町内会防災避難訓練報告

1 実施日 令和6年10月13日（日）午前（町内清掃後に合わせて実施）

2 訓練内容 避難訓練

（1）家屋内外の防災チェック

・「わが家と地域の防災チェック」を利用して、家庭内外の防災状況を確認。

※この機会を通して、班内・地区内の高齢者世帯や障害をお持ちの方の 災害時の対応についても関心を持っていただければ幸いです。

（2）一時（いっとき）避難所（各丁目公園）までの危険チェック

・災害時の避難ルートを確認。

※今回は、3丁目公園法面付近の報告だけでしたが、自動販売機等の設置状況についてもお気をつけください。

（3）指定避難所（大沢中学校）までの避難&防災倉庫確認

・実際に指定避難所までの徒歩避難。

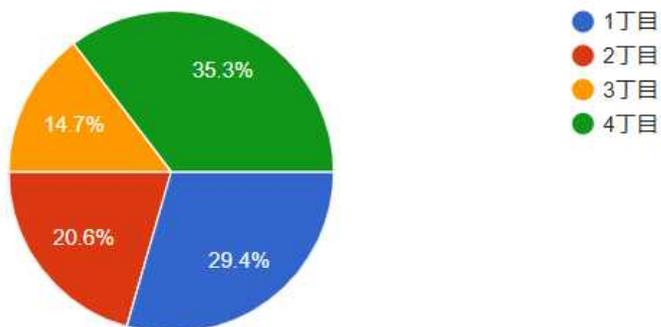
・防災倉庫の確認。

※体育館での避難を想定しての毛布等備品を確認しました。

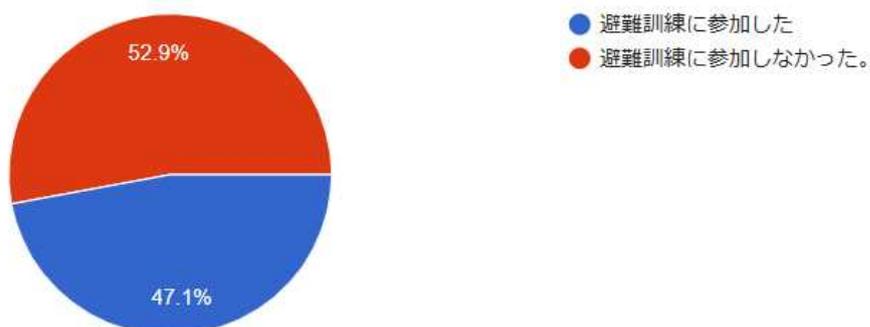
※防災水道栓（プール脇）を確認しました。東日本大震災では、飲料水にも苦労しました。

3 アンケートから（一部抜粋）

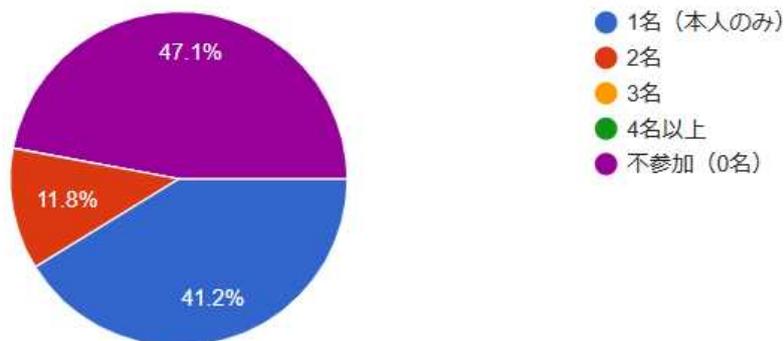
① お住まいは 何丁目ですか？



② 防災訓練（避難訓練）の参加について（回答者中）

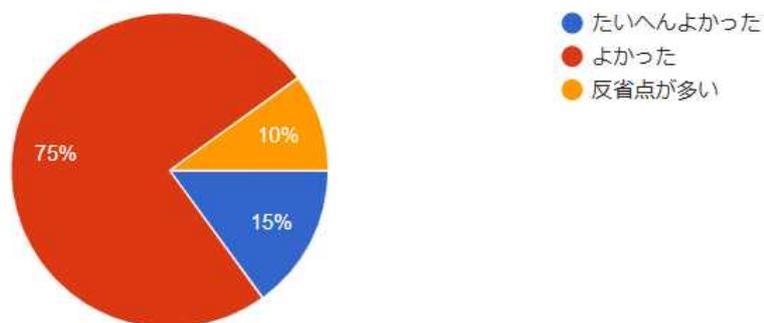


③ 家族何名で参加しましたか？（自分も含めて）



※1割強の家族複数名参加がありました。

③ 避難訓練に参加してみてどうでしたか？（参加者中）



※9割の方が「よかった」との感想でした。

④ 開催時期・日程等についてはいかがですか？（参加者中）



※参加できたので「適切」がほとんどでしたが、それでも「連休中<sup>なかび</sup>日なので避けた方がよい」というご意見が以下の自由記述でもいただいております。

※QRコードからのアンケート入力に一部修正箇所があったため、送信までたどれなかったケースもあったかも知れません。今回の集計には間に合いませんでしたが、送信可能です。また、今後に向けての

アイデア・ご意見等は、[takanoharatown@yahoo.co.jp](mailto:takanoharatown@yahoo.co.jp)でも受け付けております。

## 自由記述

### <今回の「避難訓練」に参加して 反省すべき点と改善案>

- ・高齢者は大沢中学校まで遠い。歩行は困難では？
- ・今後も継続してほしい
- ・大地震等が発生し、ライフラインが寸断された場合、指定避難所への避難は必須ですが、1・2丁目にお住まいの方々(特に高齢者や障害者等)には大沢中は結構遠いので、いわゆる「がんばる避難所(高野原集会所)」の併用も考慮し、災害発生時には指定避難所に準ずる避難物資等の配送も含めた対応について、あらかじめ仙台市当局の考え方を確認しておくことも必要かと思われます。
- ・3連休中日は人が集まらない。
- ・避難訓練の準備ありがとうございました。
- ・今回の避難訓練で初めて中学校の敷地内に水が出ることを知れて、また実際の器具を見ることが出来たことは安心材料になりました。
- ・秋の行楽やスポーツシーズン、育児や介護等で参加したくてもできなかった方もいらっしゃると思います。そういった方への周知が出来ると良いのかなと感じました  
(後日に回覧板で知らせる、学区民運動会などの際に倉庫の位置や水栓の位置を知らせるなど)。
- ・防火防犯部長さんの説明がとてもわかりやすく声も聞き取りやすくありがたかったです。
- ・次回、タイミングあえば参加したいです。
- ・防災チェックの結果が最悪、要対策

### <今後の町内会の防災対策について>

- ・これから高齢者の多い町内会となるので、心身に不安のある方をどのように避難所までサポートするのか？要検討。
- ・高野原町内は東日本大震災では土砂崩れの被害に会われた方が多数居られました。他には断水と停電が発生しました。知る限りでは火災被害は無かったと記憶しています。ここの地域は特に火災発生が心配です重点的に火災予防や初期対応の仕方等訓練出来れば幸いです。
- ・震災時、特にケアが必要な方が十分な支援を受けられる町内会であってほしいなと感じています。  
(具体的な案がなくすみません)
- ・避難所に3丁目2号公園も入れてほしい。
- ・朝7時は大変。10時開始。せめて9時に。

## 避難訓練を写真で振り返り

☆「わが家と地域の防災チェック」  
各家庭内外の防災チェック！



☆町内清掃に向かいながらルート沿いの安全確認！

町内清掃終了 → 避難訓練参加者確認

☆指定避難所（大沢中学校）まで徒歩で避難！

☆防災倉庫見学



4丁目と1丁目では時間差があり、2回に分けて見学・説明となりました。



防災倉庫の備蓄品について  
防火防犯部長より説明を受けました。



防災倉庫の見学後に 体育館とプールの間を移動。

駐車場手前・プールの西端スペースに到着すると、水色の「給水栓」が見えてきました。

開栓はしませんでした、防災倉庫内の袋に開栓工具や蛇口等を装着するアタッチメントがあることなどの説明を受けました。これで 災害・断水時も飲料水を確保することができます。

